

2025年（令和7年）2月

明石市立魚住東中学校
学校司書

図書室だより 第5号

今年の立春は2月3日です。立春とは、二十四節気の一つで、季節をあらわす言葉です。旧暦では立春は新年の始まりを指し、正月のようなものでした。立春には、春という字が含まれますから、寒かった冬は終わり、花が咲き、気温の穏やかな日々がイメージされます。



しかし立春とは、冬が極まり春の気配が立ち始める日、という意味で、立春を迎えたころから気温の底はピークを過ぎ、徐々に春めいた気温や天気に変わっていくのです。寒い日はもう少し続きますが、こたつで勉強や本を読んだりしながら、暖かい春を待ちましょう！



2月といえば…★★バレンタイン★★

いろいろな説がありますが・・・

今から1750年も前の話にさかのぼります。ローマ帝国の皇帝クラウディウス2世は、若い兵士が戦争に乗り気ではないことにヤキモキしていました。

「そうだ！若者が戦争に参加したがらないのは、愛する家族や恋人と離れたくない

からだ！」と考えた皇帝は、「若い兵士は結婚禁止！！」



という無茶な決まりを作ってしまいました。好きな人と結婚できないことを、あまりにもかわいそうに思ったバレンタイン神父は、若者をこっそりと結婚させてあげていたのです。それを知った皇帝は激怒し、神父を処刑してしまったのです。その日が2月14日だったそうです。



チョコレート好きの人もそうでない人も、本を通してチョコレートの世界を堪能しませんか？読書好きな人へのバレンタインギフトにもいかが？

◎「チョコレートコスモス」恩田陸 [図書室913-0](#)

ディープな演劇の世界を味わうことができるチョコレートコスモス。お芝居の面白さ、苦難、葛藤を美しくも熱く描かれています。読んでいるこちらが興奮し感動してしまうような演劇ロマンの世界に浸りませんか？



チョコレートコスモス
著者 恩田 陸
発行日 2011/06/23
出版 角川書店



イチからつくるチョコレート
著者 NPO法人APLA 編
(株)オーラ・トレード・ジャパン 編
パンチール 絵
発行日 2018/01
出版 農山漁村文化協会(農文協)

◎「イチからつくるチョコレート」NPO法人APLA [図書室366-9](#)

チョコレートって何からできているの？どうやってつくるの？——父の日にプレゼントするチョコレートを買いにいったことをきっかけに、原料や原産地のことを調べ始めた姉弟。それまで見えていなかったチョコレートの背景にある世界を知り、新たな発見をしていく。

★★今年度の貸出について★★

返却： 3月3日（月）お昼休みまで

- お昼休み後に督促状が出ます
- 全校生対象です
- 返却は職員室前返却ポストでも大丈夫です
- 春休みは貸出できません